

令和6年度 東大和市校長会

I 活動方針、取組、重点事項等

◎学校のウェルビーイング向上

・全校コミュニティ・スクールの推進 ～地域とともにある学校～

○小中一貫教育の推進

○教職員の人材育成と働き方改革の両立

II 活動・取組

1 学校のウェルビーイングの向上に向けた取組

(1) 確かな学力

・東大和 GIGA スクール構想の更なる推進

1人1台端末による「個別の学び」と「協働の学び」の充実、AI型教材の導入

・地域との連携

コミュニティ・スクール全校実施による「地域とともにある学校」の推進

・総合的な学習の時間を中心とした「探究的な学び」の充実

総合的な学習の時間を研究している学校への研究授業参観、研究協議会、講師による研修会等を通して、自校の総合的な学習の時間の充実につなげる。

(2) 豊かな人間性

・人権教育（ダイバーシティ教育）の推進

・いじめ防止の取組（児童の関わりアンケート年5回、保護者アンケート年3回実施）

・全校に設置されたサポートルームの有効活用（不登校の解消に向けた取組）

2 小中一貫教育の推進

(1) 中学校区の交流会を年3回実施

中学校区ごとに小中一貫教育全体計画を作成し、各回テーマを設定して教員の交流会実施（授業公開、学校紹介、情報交換、AI教材の共通取組など）

(2) 中学校区ごとの学校運営協議会（CS）実施

3 経営研修

学校経営を担う人材育成を目指し、年間を通して実施

(1) 対象：副校長、教育管理職選考受験者、4級職選考受験者、任用審査対象者、希望者

(2) 内容：開校式、論文指導、面接指導、閉校式

III 特色・特徴等

教職員の資質・能力の向上と働き方改革の両立（校長課題検討会での研究・情報交換より）

(1) 校内研究の交流（全校研究奨励事業実施）

校内研究を自分の学校だけに留めず、市内全ての学校に公開して、教職員が自由に参観し、授業力の向上を図れるよう、校長間で呼びかけ

(2) 学年間で教科・単元の交換授業

授業準備時間の削減、受けもつ教科の教材研究の質の向上

(3) 組織の見直し

先輩教職員が後輩教職員を指導する1分掌2人体制

(4) 生活時程の見直しと会議等の精選